

平成27年度

保護者向けセミナー開催のご案内

～みんなで、一緒に考えよう～



講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ぜひ、ご参加ください。

3月のセミナー 平成28年3月19日（土）

セミナー講師：心理相談室アシスト

代表・臨床心理士 岡本 克己氏

テーマ：『若者の就労に向けて、現状を変える実践ワーク』

「心理相談室 アシスト」では、長引くうつ病や不安障害等の症状の改善を行っています。サポステにおいても、心理カウンセリングで若者の就労支援を行っています。

参加費 無料

時 間：13:30～16:00

対 象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定 員：20名 （申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。）

場 所：福井県社会福祉センター

内 容：講師によるセミナー・意見交換ほか

サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）とは…。

若年無業者の方の職業的自立支援を行う機関です。サポステふくいは、厚生労働省の認定事業で、福井県との協働事業として行っております。

1月開催のセミナーレポート

日 時：平成28年1月23日（土）

テーマ：『今、学生相談室からみえる～若者心と親ごころ』

講 師：福井大学学生総合相談室 コーディネーター 安岡恵子氏

安岡先生は、近年の社会的な傾向とご自分の経験を踏まえ、今の若者は、自己を客観視する力や他人に相談する力が欠如していることに特徴があると指摘されました。大学では、相談室の利用者のニーズが年々上がり、入学時の研修効果もあって、本人のほか、日頃関わりをもっている教職員や、保護者の方の相談も多くなっています。

最近の学生の相談では、生活リズムの乱れや履修の躓き、対人関係の弱さや自己肯定感の低さがみられ、そうしたことが学生生活を困難なものにしているようです。本人と親の双方の胸の内に耳を傾けている先生は、大学生にあたる年齢は、「心にかける」青年期であり、望ましい保護者の姿勢として、過干渉や放任過ぎにならず学生生活を共通の話題として、親子が話し合えること、子どもとしてではなく大人として本人の意思を尊重することであると話されました。

親は子どもが進学すれば、自立したものと安心し自分の責任は全うしたと思い、子どもに関心を向けなくなるそうですが、相談室を利用するようになって初めて、問題の大きさを知ることが多いということです。

講義の後半は、参加者の皆さんとの意見交換の場を設けました。保護者の疑問や質問に対し、先生はそれぞれの方に今の状態をお聞きして、今、出来ることについてアドバイスしました。若者の自立を巡って、親子関係について考えさせられるセミナーでした。

【お問い合わせ】

サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）

福井県福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311